

授業科目	健康情報処理実習 (Aクラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21407J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP5-1			
担当教員	相良 かおる							
授業概要	この実習では、アンケート調査の一連の手順、具体的には、食に関わるアンケート調査票の作成、実施、集計、分析、報告書の作成を通して、栄養学研究または、実践活動をする上で必要な統計的手法および得られた健康情報の表現・伝達方法について学びます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. アンケート調査の一連の流れを説明できる。 2. データの種類について説明できる。 3. 仮説検定について説明できる。 4. 栄養学研究で得られたデータについて、適切な統計的処理方法が選択できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	0	20	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10					30	
知識・理解 (DP1-2)	20	10					30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10			10			20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10		10	20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
行動目標全てを達成し、かつこれらを活用することができる。				行動目標全てを達成している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・調査データの整理 本授業と他科目との科目関連 食事調査の種類			講義				

	データの種類、分布の表現法			
2	テーマ:データの統計処理 度数分布表とヒストグラム、箱ヒゲ図	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
3	テーマ:2つのデータの関係 エネルギー残差法	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
4	テーマ:2つのデータの関係 散布図、相関係数、回帰直線	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
5	テーマ:母集団平均の推定 母集団と標本、母平均の区間推定	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
6	テーマ:文献検索 文献データベース活用法 栄養学研究デザインと科学的根拠	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
7	テーマ:仮説検定 2群の平均値の差の検定 対応のある平均値の差の検定	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
8	テーマ:仮説検定 2群の平均値の差の検定 対応のない平均値の差の検定	講義・実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
9	テーマ:仮説検定 適合度・独立性の検定 クロス集計	実習	授業中に出された課題が出来なかった人は、次回の授業迄に終わらせておいて下さい。	適宜
10	テーマ:食生活に関するアンケート調査 調査方法、調査票、調査データの入力	実習	報告書の提出期限に間に合うように、適宜考えて実習を進めて下さい。	適宜
11	テーマ:調査報告書の作成 先行研究調査、データ分析、調査報告書の作成	実習	報告書の提出期限に間に合うように、適宜考えて実習を進めて下さい。	適宜
12	テーマ:食生活に関する口頭発表(班単位) 班分け(5~6名で1班) データ分析と考察 発表内容の検討	実習	口頭発表に向けて、班で相談しながら適宜、演習を進めて下さい。	適宜
13	テーマ:食生活をテーマとした口頭発表 スライドの作成	実習	口頭発表に向けて、班で相談しながら適宜、演習を進めて下さい。	適宜
14	テーマ:食生活をテーマとした口頭発表 口頭発表と相互評価 復習	実習	口頭発表に向けて、班で相談しながら適宜、演習を進めて下さい。	
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校で学ぶ記述統計の知識に加え、「健康情報処理論」で学ぶ知識、「情報処理基礎」で学ぶ Word および Excel の操作を前提にしています。			
テキスト	「わかる統計学」化学同人			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ● やさしい栄養・生活統計学(南江堂) ● 管理栄養士・栄養士のための統計処理入門(建帛社) ● 健康を決める力 ヘルスリテラシー http://www.healthliteracy.jp/ 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	演習を通して自ら学ぶ教えない授業です。まず自分で課題に取り組み、分からないことはクラスメイトと協力し合って解決するようにして下さい。また、操作方法等をメモし、卒業後も利用できる自分用のノートを作ってください。			
達成度評価に関するコメント	<p>試験では、配付資料、ノートの持ち込みを許可します。自分で分かり易いノートを作成して試験に臨んで下さい。また、有意義な質問等の授業貢献度を評価します(その他 10%)。</p> <p>食生活に関するプレゼンテーションは、5, 6 人の班に分かれて行い、クラスメイトで相互評価を行います。</p>			

